

第8回 古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会・とりまとめ部会

- ・日 時：平成28年3月2日（水）19時～20時50分
- ・場 所：市役所303会議室
- ・出席者
 - ・部会員（敬称略）：水田、篠崎、今村、大神、戸田、高村（計6名）
※欠席者：本田、最所、横大路（計3名）
 - ・事務局：地域コミュニティ室長、同係長、同係員、法制担当係長
 - ・ファシリテーター：村田、今井（（株）エム環境デザインシステム）
- ・会議内容：以下の通り

1. 第12回策定委員会の振り返り

- ・各委員より第12回策定委員会(1/20)の振り返りを行った。（以下、委員発言の要旨）
 - ・グループワークではとりまとめ部会員が進行役となって話し合いを行っている。話し合いを円滑に進めるためのファシリテーションがあれば共有したい。
 - ・現状→問題点→解決策・提案という順番で話し合う。
 - ・論点がそれたり議論が停滞したりしたときは、ファシリテーターが状況に応じ介入することとする。
 - ・つながりひろばの必要性を痛感。
 - ・今回は市民活動、食の祭典、農産物移動販売の3つのテーマがあり、各委員は1つのテーマを選び話し合いを行ったが、興味のあるテーマばかりで他のテーマの話し合いにも参加しなかった。
 - ・農産物移動販売は、買い物弱者対策に継続的に取り組むため努力されている。販売先の自治会の役員の方々は協力的であり、事業継続には自治会との連携協力が不可欠であると感じた。
 - ・農産物移動販売について、企業、自治会、行政などが連携して成り立っていることがわかった。

2. 「はじめの一步案 ver.2」について

- ・第12回策定委員会における意見の「はじめの一步案 ver.2」への反映について資料の案の確認・検討を行った。

【主な協議内容】

- ・「はじめの一步案 ver.2(第12回策定委意見反映後)」事務局案について特に修正点なしとする。

〈その他意見〉

- ・つながりひろばを通じて市民活動団体同士の交流が更に図られることが必要（登録のしやすさなど）

3. 第13回策定委員会について

- 第13回策定委員会のプログラム案について検討・確認。

【主な協議内容】

- 審議会委員等の公募のミニ出前講座について、資料として附属機関の一覧を添付することとする。
- 住民投票については内容を正確に把握するため、事務局で説明資料を作成する。

以上